

令和4年度 弟子屈町立川湯中学校学校経営の概要

弟子屈町教育のめざす姿

- ＜学校、家庭、地域社会が連携し、ふるさとを創る人を育む＞
- ・体力を増進し、心身ともに健康で豊かな生活を築く人
 - ・郷土を愛し、進んでふるさとの文化を創る人
 - ・自然と調和した活力と潤いのあるふれられた郷土づくりにつとめる人
 - ・働くことに誇りをもち、よりよい家庭や社会の建設につとめる人
 - ・生涯にわたって自ら学びつづける人

川湯地区で教師が共有する目指す大人像

- ・ふるさと子弟屈を愛している
- ・自分を高めるために学び続けている
- ・社会のルールや規範に従って生活している
- ・社会に貢献することに喜びを感じている
- ・一定の収入を得て家庭を営んでいる
- ・自己肯定感を持ち、自信を大切にしている
- ・自分の仕事にやりがいを感じている
- ・物事を前向きに考えて生活している
- ・心身ともに健康で働いている
- ・職場で望ましい人間関係を築いている
- ・趣味を持ち、潤いのある生活をしている

＝ 川湯中学校の校訓 ＝

新しい時代を拓き、よりよき社会を共につくる人になろう

賢く 優しく 違しく

めざす学校像

- 生徒にとって、安心して通い、学ぶことのできる学校
- 保護者・地域にとって、信頼でき、共に子どもの成長を見守る事のできる学校
- 教師にとって、働くことに誇りと喜びを実感できる学校

学校教育目標

- 1 自ら進んで学びに向かう人
- 2 思いやりを持って協調できる人
- 3 違しい心身を持つ人

めざす教師像

- 学校教育目標の具現化に向けて協働する教師
- 学ぶ意欲を持ち、授業で勝負できる教師
- 子どもが好きで、生徒に寄り添える教師
- 生徒・保護者・地域・同僚から信頼される教師

＝ 経営方針 ＝

生徒一人一人を正しく理解し、「生きる力」を育成するために全力を尽くす

教職員が「一枚岩」となり、お互いを信頼し、協働する

生徒、保護者、地域の期待に応える

《生徒の実態》

強み：素直、真面目、優しい

弱み：基礎体力、忍耐力、社会参画意識、受動的、人間関係形成力、自己肯定感、調整力

学校課題 失敗を恐れず、持ち味を生かして表現する生徒の育成

4つのC：Challenge, Communication, Control & Change

自ら進んで学習して確かな学力を身につけた生徒

- ①生徒一人一人の主体的な学びを支援した「確かな学力」の定着
- ・何のために学ぶのかを意識した授業づくり
 - ・授業と家庭学習のリンク（学習習慣）
 - ・ICTを活用した「わかった」「できた」を実感できる授業
 - ・目標・課題の明示と正対した振り返り・まとめのある授業
- ②キャリア教育の充実
- ・自己理解を基にした系統的計画
 - ・探究的な活動を軸に、社会人として生き抜ける能力を育むキャリア教育

ふるさとを愛して思いやりを持って協調できる生徒

- ①ふるさと川湯のよさを知り、愛する心の育成
- ・川湯エコミュージアムセンターと連携した環境教育
 - ・地域の素材、人材を積極的に活用
- ②地域社会をより良く創造する心の育成
- ・地域行事の紹介と参加意欲の啓発
 - ・姉妹都市交流への意識高揚
 - ・自立を目指して保護者と進める特別支援教育
- ③豊かな心を育む道德教育と体験活動の充実
- ・考え、議論する道德の授業実践の蓄積と参観日における授業公開の継続
 - ・体験的な活動や地域の人々とのふれあいを通じた自信を尊重する豊かな心の醸成

逞しい心身を持って最後までやり抜く生徒

- ①基本的生活習慣の確立
- ・「川中の生活と学習」を生かした健康バランスのとれた生活習慣の確立と授業に向けた学習習慣の確立
- ②体力の向上と安全指導の充実
- ・健康維持・体力向上への運動習慣の確立
 - ・身体づくり・健康維持に向けた食育の実践
 - ・学校の新しい生活様式を中心とした衛生意識の高揚
- ③外部講師を活用した安全教室の充実
- ④プロセスを大切にした生徒指導の充実
- ・日常活動や行事等の取組の中で個性を生かした自己肯定感を高める指導の充実

－ 今 年 度 の 学 校 経 営 の 重 点 －

「授業改善」：ICTを活用した3つの資質・能力を育む個別最適な学びと協働的な学び「学習者中心の授業」への転換

「地域連携」：コミュニティ・スクール（地域の学校）として保護者及び地域の信頼の下、双方で創り上げる教育活動の展開

「業務改善」：「教育活動の質の向上」の為に「時間」「人」「環境」の3つの視点で捉え、「やめる」「変える」「減らす」「始める」の4手法で見直し、「成果の実感」が伴う働き方改革推進

地域の学校（川湯小学校・川湯中学校）学校運営協議会

- ・川湯小中9年間で育てる川湯の目指す大人像の共有
- ・コミュニティ運動会の実施を中心とした地域との一体感の向上
- ・川湯地区に存在する教育資源の発掘と活用

【教育者としての大前提】

人は最後まで理想に一步でも近づくように学びつづけなければならない。そういう意味では私たち教職員も生徒と同様に未完成の存在である。立場の違いはあるが、上から目線ではなく、同じ学ぶ者（学びのプロ）として共に高めあう存在でありたい。